

4月19日3年生では進路ガイダンスがあり、KE コンサルタント代表の蔵下克哉氏に来ていただき「大学入試に向けての心構え」というテーマで最近の入試動向を講演いただきました。



新しい時代に必要な「社会人基礎力」として予測困難な社会で必要となる課題を自ら見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して「生きる力」を身につけるため、高校時代には基礎学力の向上と大学卒業後の進路まで意識することが求められているという話からスタートしました。企業が成果主義に移行してきていることから今までの真面目にコツコツに加えて、考えて行動する力が就職の際にも重要になってきているとのこと。また入試の動向の話では、地方の公立が狙い目(特に理系)ということを強調されていました。1・2年生にも聞いてもらいたいような内容でした。将来的なビジョンとともに、現実的な情報もしっかりと確認して進路実現を果たしてください。

今週から始めた3年生との面談では、しっかりとしたビジョンを持っている生徒はすでに取り組みを進めているようですが、「何となく」という人もまだいるようで、自分たちが持っている力に気づいてその良さを発揮することをもっと伝えていかなければと思っています。これからの面談でもそういったことを確認しながら進めていきます。そのことが面接や小論文など教科ではない試験科目に生きてくると思います。就職後3年以内の離職率が高くなり、転職を視野に入れた就職という形になってきている今、自分のスキル、資格はもちろん成果を出すための実績など何を認めてもらって任されるかという点では高校時代の過ごし方はとても重要です。将来を見据えた進路の方向性をしっかりと考えていきましょう。有名なブランド「CHANEL」の創始者、ココ・シャネルが「20歳の顔は自然から授かったもの。30歳の顔は自分の生き様。だけど50歳の顔にはあなたの価値がにじみ出る」と言っています。この言葉の解釈はそれぞれあるかもしれませんが、これからの人生においてその生き方や生き様が表情や態度に表れるとしたら今何をすべきか、将来どうすべきかをしっかりと考えて行動しておかねばならないと実感しています。まだまだ時間があると思わずに一日一日を大事にしてください。



4月22日は運動部の大会が各会場で行われました。サッカー部は市内リーグ戦。現在1位の北須磨高校との対戦でした。前半0-0で折り返し、後半は互いに点を取り合い、最後は2-2の同点だったようです。次は5月3日から始まる県総体です。3年生にとっては高校最後の総体ですので、悔いの残らないように頑張りたいです。ウエイトリフティング部は本校で県総体市内予選が行われました。ここは記録を残さないといけないので、自己新にチャレンジというよりは安全にしっかりと挙げるという感じだったようです。しっかり肘が伸びていないといけないとか、静止しないといけないとか判定も厳しく、本番までに修正も必要になってくるようです。次は6月の県総体。コンディションを整えて頑張ってください。



陸上部は兵庫リレーカーニバルに出場。女子が4×100m、男子が4×400mに出場しました。厳しい戦いを強いられました。この大会にはグランプリ種目もあり、国内のトップ選手も出場し、大いに盛り上がっていました。この時期陸上は大会も多いのですが、総体予選に向けてしっかりと仕上げてください。他にも、女子バレーボール部が市内リーグ入れ替え戦に出場し、神戸高校に勝って2部に昇格しました。おめでとうございます。男女のバスケットボール部は市民大会で1回戦は勝ち上がったものの2回戦敗退。総体に向け、課題克服に努めてください。他の部も総体が始まります。頑張りましょう。

3月末に5時49分だった日の出時間は5時19分に、18時19分だった日の入時間は18時41分になり、日の出ている時間は50分ほど長くなりました。季節は確実に進んでいます。今週は4月最終週。遠足もありクラスの親睦も図れることと思います。腰を据えて取り組みを進め、日々の生活を充実させてください。